

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）
第1回 支え合いバックアップ部会（B部会）記録

日時	平成30年4月24日(火) 13時15分～14時30分	場所	中清戸地域市民センター 第二会議室
出席者	柳原部会長、星野副委員長、羽田委員、近藤委員 生活支援コーディネーター：鍵和田、鈴木、森、原田 事務局：濱田・上垣		
欠席者	内野副部会長、村田委員		

1 板橋区第2層協議体の視察報告

- 生活支援 CO で、板橋区常盤台地区(3/27)、桜川地区(3/29)第2層協議体を視察。桜川地区視察には柳原部会長も参加。
- CO より視察報告資料を作成、次回の本会にて改めて詳細を報告予定。

(1) 報告概要

ア. 板橋区の地域状況

- 人口56万人。高齢化率25.1%。区内18地区(地域センター単位)で第2層協議体を設置。
- 常盤台地区は約3万人、桜川地区は約2万人と清瀬市の包括圏域人口に近い。
- 自治会加入率50%台。ほぼ丁目ごとの構成であるため、1自治会の会員は2000人～3000人程。

イ. 構成員・協力員について

- 町会・自治会関係者、民生・児童委員、老人クラブ、介護者支援サロン関係者、おとしより相談センター（地域包括）等が構成員あるいは協力員として参加。
- 構成員の選出について(桜川地区)は、町会関係者や民生委員などに社協から声掛けを行い、さわやか福祉財団の協力のもと5回の準備会(勉強会)を開催。
- 桜川地区では3～6か月かけ老人クラブ・民生委員・自治会等に対し「協議体」に関する理解を広げたとのことだが、一般の区民までは浸透したかは不明。

ウ. 協議内容について

- 常盤台地区では、社協 SC (生活支援コーディネーター) が司会となり各団体からの情報交換・近況報告を実施。さらに他地区を参考に、支え合いにつながるチラシを作成。
- 桜川地区では、構成員が SC となり、会議を進行。会議内容は、合同での報告情報発信と3つのプロジェクト(広報・マップ作り等)に分かれて協議。

エ. 費用面

- 各協議体に活動費(予算36万。社協から支払い)があり、桜川地区ではPC等を購入している。
- 常盤台地区の構成員は、会議への参加報酬1,000円/回あり。桜川地区もSCは有償。

(2) 感想・意見交換

- 話し合いの雰囲気も良く、ときばきとした司会で議論の流れも良かった。
- 協議体運営にあたり、活動費の確保は重要である。清瀬市からも第2層協議体の運営費についてどの程度予算を付けられるのかなど示していく必要がある。

2 旭が丘支えあい体験会について

(1) 企画内容(タイトル「どうなる? どうする? これからの介護保険と地域の支え合い」)

- 5/25 10:00-12:00 旭が丘団地第4集会所にて実施。プログラム概要は以下の通り。
 - ① 支え合いの重要性に関連付けた介護保険制度について講話(羽田委員より)
 - ② 支え合い体験ゲーム
 - ③ 地域住民を担い手とした生活支援サービスを提供している団体より活動PR
- 定員20名、上限30名とし①は全員参加、②は定員オーバー分の申込者はゲームを見学して頂く。(申込みがあった時点でその旨ご案内する)。
- ③については、たすけあい旭、社協ふれんどサービス、シルバー人材センター、地域通貨「ピース」が参加予定。介護サポートピッコロ資料配布のみ。
- 当日スタッフとしてA部会より、阿久津委員長、内田部会長、名古屋委員、福嶋委員、B部会より柳原部会長(当日準備)、星野副委員長、近藤委員、羽田委員、濱田(事務局)が参加予定。
- 上限を大幅に超える応募があった場合は、近日中に第2弾を企画し、今回外れてしまった方に個別にご案内するなど、次回以降の支え合い関係イベントにつなげていく。

(2) 宣伝について

- チラシ・ポスター案作成。次回の本会までに清雅包括の電話受付時間、主催(清雅包括)と共催(支え合うきよせ委員会)の追記など加筆修正する。
- 申込先について、ポスターは旭が丘団地自治会(住民が気軽に連絡できるため)、チラシは清雅包括になっている。鈴木COと自治会で随時申込み状況を確認していく。
- ポスターは5/8以降旭が丘団地内に掲示開始。チラシは次回本会にて完成版を委員にお渡しし、参加頂けそうな地域住民に配布頂く。
- 今回の企画内容でどのぐらいの人数が集まるか様子を見るため、今回に関してはチラシへの人数上限は記載しない。

3 空き家・空きスペースの活用について

(1) 情報収集・整理の方向性

- 市内公共施設等を含めた空き家・空きスペースについてCOを中心にB部会にて情報収集・整理し、柳原部会長作成案(別紙参照)をもとにCOよりリスト化する。
- 次回本会でリストのひな形を提示し、その項目(予約要否や営業時間、収容人数、費用、空き情報などを想定)に沿って各場所の情報を集めていく。

(2) 情報収集の方法について

- 社会福祉施設の空きスペース情報に関しては社会貢献協議会作成の「資源帳」を活用。
- 「公共施設」「小中高大学」「老人いきいの家」に関しては各関連部署に情報提供を依頼。
- 「ボランティアによる空室提供」「空き家・空き店舗・アパートやマンションの空室(賃借)」「空き家・空き店舗の無償(有償)譲渡」の情報収集については、B部会委員にもご協力頂く。

4 A部会との連携

(1) 意見交換会について

- 前々回A部会にてCOより開催地域を提案、また各地域に対し開催調整中。今後は各エリアの進捗状況を1枚の表にして部会に提示していく。

(2) 広報等活動

- 市内の支え合い活動と協議体の周知のため、社協HPへの「支え合うきよせ委員会」のページを作成予定。またCOの活動の周知のためブログを開設し「支え合うきよせ委員会」ページにリンクを掲載することを検討中。
- 支え合い情報ファイルの内容の電子化(ネット掲載、クラウド管理、CD-R化など)を進める方針で本会へ提案予定。

(3) 両部会の連携について

- 今後は各部会の役割にとらわれず、発案した部会を中心に組み組んでいく。部会ごとの報告により相互に進捗を確認していく。

5 その他意見

- 支え合い体験会で実施予定の「生活支援サービス提供団体のPR」は、地域住民にとっては身近な生活支援サービスを得られること、各団体においてはサービスごとの相互理解につながることを期待される。今後は体験会等の中での地域サロンのPRや、別企画として生活支援サービスの連絡会などの実施も有意義であるとする。

6 今後の部会開催予定

- (1) 次回日程 5月10日(木) 13:30~支え合うきよせ委員会 本会
14:30~ B部会

コミュニティプラザひまわり 会議室3

- (2) 次々回日程 6月26日(火) 13:15~14:30
健康センター第3会議室